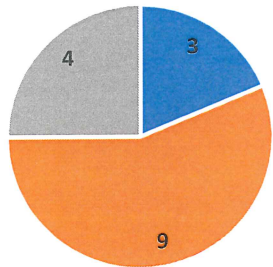


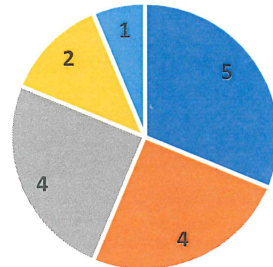
平成30年度 前期企画展「働く人の権利を求めて」 アンケート集計結果(回答16名)

お住まい



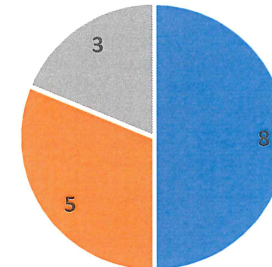
■ 大崎市内 ■ 宮城県内 ■ 宮城県外

年代



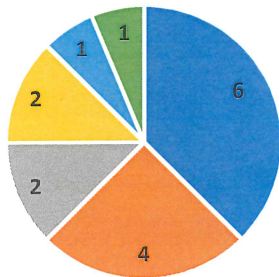
■ 60代 ■ 50代 ■ 10代~30代 ■ 40代 ■ 70代

性別



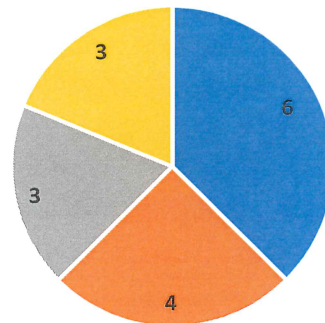
■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答

この企画展を何で知りましたか？



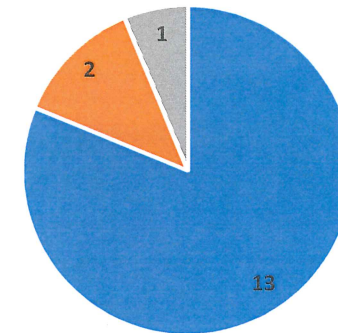
■ ポスター・チラシ ■ その他  
 ■ 新聞・テレビ ■ 当館SNS・ホームページ  
 ■ 広報誌 ■ 無回答

来館回数



■ 初めて ■ 10回以上 ■ 2~5回 ■ 無回答

内容について



■ 満足 ■ 普通 ■ 無回答

## ご意見・ご感想

◆吉野作造、鈴木文治の二人はキリスト教の信者でしたが、宮城県におけるキリスト教との政治的つながりに関する展示、イベントをしてほしいと思います。

(10代～20代 男性)

◆ゆっくり見せていただきました。鈴木文治氏はじめ、労働運動の先駆者達の展示は難しいながらも、こういう時代があったということを理解することができました。

(60代)

◆時代が変わっても人が求めるものは、女性の社会進出、労働条件、良い暮らしなど今と同じで、先人たちが行ったことで良いこと、ためになることを自分の生活に取り入れながら暮らしていきたいと思いました。

(40代 女性)

◆松岡駒吉の活躍を知ることができ、よい勉強になった。職工、労働者としての下積みの体験が、イデオロギー対立を超えて民衆の幸福を求める道につながったのだろう。

(50代 男性)

◆音声ガイドが便利でした。

(50代 男性)

◆このように、一つ一つの権利や労働者としての地位を作ってきた歴史は大変だと思いました。天から降ってきたものでも、与えられたものでもない(本当は自然にあるべきものかも知れませんが)知ることができました。

昔の人は山口に行ったり、北海道に行ったり、交通も不便なのによくやるなぁと思いました。

(30代 女性)

ご協力ありがとうございました。今後の運営に活かしてまいります。